

高等小學書方手本

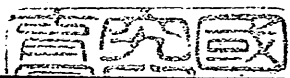
新制第三學年用下乙種



K140.72

1.2

3下a



文部省著作新制第三學年用下乙種

高等小學書方手本

發賣所 株式會社 國定教科書共同販賣所

霜滿軍營秋氣清。

乙新苗子

數行過雁月三更。

乙新苗子

越山并得能州景。

遮莫家鄉憶遠征。

妹某より永く病氣の憂養生ふ相叶ふ朝
四時三十分死去後百取敢へずは知らせしむ。

乙新巻下

両手厚き介抱の甲斐もたなく終には逝去
ら遊小由海と直然傷の事と直家し中ら。

七

身體髮膚之を父母に受く敢へて
毀傷せざるは孝の始なり。身を立て

道を行ひ名を後世に揚げて以て父
母を顯すは孝の終なり。

券。卷。若。苦。唯。誰。決。

快。暮。墓。遣。遺。施。旋。

感。惑。殘。餞。怒。怒。頂。

項。容。容。傳。轉。薄。簿。

株券卷紙老若苦勞唯今誰人決斷。
愉快夕暮墓系派遣遺憾施與周旋。

感服迷惑殘念餞別憤怒宥恕頂戴。
條項容態來客傳言移轉舊儀帳簿。

私儀卒業後は家子を手傳ひ居り候
此の儘にては将来の見込相立たず
お應なる商店に存公致し業務の

實際を見習ひ度存候。就ては是多忙
中甚だ恐入候。も志心當の向には紹介
と度懇願仕候。

渡邊氏は在学中品方正學術優
等に有之殊に珠算と書き方とにては
全校中其の右に出づる者無かりし由

に比ば先日お話の向には最も適任と
存す。由採用とすは同氏の一身上に
関しては小生業より引受けありし由。

机下侍史御許平

信至急親展貴酬

青取之藍而青於藍。
冰水為之而寒於水。

蓬生麻中不扶自直。
白沙在泥與之俱黑。

在鄉有志來臨遠望。行程往復意向。
歡迎送別贈呈供給具備所為成績。

早晚遲速就職交付。附屬繼嗣接續。
振動奮發選舉撰述取捨固執採用。

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ
徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克ク

孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此我カ
國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス

爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友
相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ

業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ進テ
公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ヲ遵ヒ

一旦緩急アルハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ
皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ

臣民タルノミナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯
彰スルニ足ラン

斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫
臣民ノ俱ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ

謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ
拳々服膺シテ咸其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

三十四
仰げば苦し我が師の恩教の庭にもはや暮歳
思へばいと疾し此の年月今こそ別れぬとあらば
互に睦みし日頃の思別る後にもやも忘るな

身を立て名を揚げやも勵め今こそ別れぬとあらば
物多なればし學びの窓螢の燈火積む白雪
忘るるもどなき行く年月今こそ別れぬとあらば。

